

2025 年 6 月 16 日

## 日本農薬株式会社とゲント大学および Tech Lane による覚書締結のお知らせ

日本農薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：岩田浩幸、以下「日本農薬」）は、ベルギーのゲント大学（Ghent University、以下「ゲント大学」）およびその関連機関である Tech Lane Ghent Science Park（以下「Tech Lane」）と、持続可能な農業・作物保護資材の研究開発面での協力に関する覚書（MoU）を締結いたしました。

日本農薬の子会社である Nichino Europe Co., Ltd.（英国、以下「Nichino Europe」）はかねてよりゲント大学と連携し、持続可能な農業・作物保護資材の実用化に向けた取り組みを進めてまいりました。本覚書締結により、そのような連携を NICHINO グループ\*として一層発展させ、農業分野における革新的かつ環境に配慮したソリューションの創出を進める計画です。各機関が有する専門知識と技術力を結集することで、グローバルな課題である食料安全保障や気候変動への対応に貢献することを目指します。

\*「NICHINO グループ」とは、日本農薬を含むグループ会社（子会社）を示す呼称です。

### 【各機関の概要と役割】

NICHINO グループは、研究開発型企業として安全で安定的な食と豊かなくらしを守り、サステナブルな社会の実現に貢献することを基本理念として掲げています。新たな価値の創造にチャレンジし、すべてのステークホルダーの期待に応えるグループを目指します。

ゲント大学は、教育・基礎および応用研究・社会的インパクトにおいて卓越性を追求するベルギーの公立大学です。多様性と国際協力を重視し、農業・食品分野におけるバイオテクノロジーの研究開発分野においても高い専門性を有しています。農業・食品分野における持続可能な開発や知識の共有を通じて、食料安全保障、公衆衛生、気候変動といった地球規模の課題に取り組んでいます。ゲント大学のビジネス開発センターである CropFit は、業界と社会への知識の共有を促進します。

Tech Lane は、ゲント大学アソシエーションのスピンオフ企業を支援するサービスセンターです。革新的なハイテク企業の創業・成長・発展を支援し、シナジーとネットワーキングを促進することで、若く創造的な起業家精神を育むダイナミックな環境を提供しています。

### 【今後の展望】

本覚書の締結により、日本農薬および Nichino Europe はゲント大学および Tech Lane との連携を強化し、特に環境調和型製品の創出に向けた検討を進めます。関係者間の共同研究や技術交流を通じて、より持続可能で革新的な農業ソリューションの創出・提供を目指してまいります。

以上

### ■本リリースについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel: 0570-09-1177